

何を使う

機器

スマートフォンまたはタブレット PC

ソフトウェア（アプリ）

アグリノート



それをどう使う（それで何ができる）

- ・マップ上に登録した圃場^{ほじょう}や、圃場ごとの作業内容や野菜の生育調査（草丈や葉数など）、環境調査（農薬使用履歴、気温、天候など）のデータを蓄積する。
- ・生育状況を写真にアップロードし、圃場ごとの野菜の成長過程をグループで共有し、振り返り・考察する。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

農業 生育調査における考察

【 Before 】

- 圃場の区画ごとの観察を、多くの資料を用いて、実習時間外も利用して考察まで行う。



【 After 】 メリット

- 日々の生育調査で蓄積しているアプリのデータを用いて考察することができるため、時間に追われることが少なくなる。
- 農薬や気温などの環境データや野菜の成長過程データが蓄積されているため、圃場ごとを客観的に比較し、考察することができる。

機器 (台 数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学 習 場 面	一 斉	個 別	協 働
	○	○					○	○	
	教員、生徒各1台								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		農業		
			○		活用が想定される場面		実習全般		